Nishitokyo City
西東京市 議会だより

第33号
平成20年5月1日
（2008年）

〒188-8666 西東京市南町5-6-13　042-464-1311　編集／議会報編集委員会　発行／西東京市議会



平成20年
第1回
定例会

## 平成20年度当初予算を可決　一般会計、特別会計の総額は1,025億9,730万円

今定例会では、一般会計のほか9特別会計の平成20年度当初予算を可決しました。このうち一般会計予算は、総額611億3,000万円と合併後の当初予算額としては最高額となっており、西原保育園の建て替え、公園広場整備事業としての生産緑地等の買い取り、上向台小学校校舎の増築、保谷駅前公民館・図書館の整備、都市計画道路の整備等を行うための経費などが計上されています。

⇒詳しくは6面「予算の審査から」をご覧ください。

## 保谷駅前公民館・図書館は6月29日開館

### 公民館設置及び管理等に関する条例等の一部改正を可決

今定例会では、公民館設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例及び図書館設置条例の一部を改正する条例を賛成全員で可決しました。これは、3月末で住吉公民館を廃止し、保谷駅南口地区第一種市街地再開発Ⅱ街区ビルの5階に開館する公民館及び同ビルの4階に移転する下保谷図書館の名称と位置を定めるもので、両館とも6月29日に開館します。

⇒詳しくは7面「委員会の審査から」をご覧ください。

「芝久保バラ園」
（公募写真）

○撮影：玉井操さん
（芝久保町在住）

芝久保バラ園は、四季を通じて花が咲いています。特に最盛期（5月～6月）には大勢の人が見物に訪れます。

※芝久保バラ園
芝久保町2-21市立芝久保第一児童遊園にあり、NPO法人西東京花の会の皆さんが管理しています。

### ●第1回定例会

会期…2月29日(金)～3月28日(金)　29日間

| | 審議件数 | 可決・採択 | 否決・不採択 | 継続審査 | 審議未了 |
|---|---|---|---|---|---|
| 議案 | 38 | 37 | 0 | 1 | 0 |
| 補正予算 | 7 | 7 | 0 | 0 | 0 |
| 当初予算 | 10 | 10 | 0 | 0 | 0 |
| 条例 | 18 | 17 | 0 | 1 | 0 |
| その他 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 |
| 議員提出議案 | 5 | 4 | 1 | 0 | 0 |
| 陳情 | 24 | 3 | 4 | 15 | 2 |

※「可決・採択」には同意・趣旨採択を含んでいます。

### 写真を募集しています！

市議会だより第34号（平成20年8月上旬発行・モノクロ印刷）に掲載する写真を募集します。

未発表・未公開のオリジナル作品であれば、内容、テーマは問いません。

住所、氏名、電話番号、撮影場所・年月日、作品名及びその説明を別紙に添えて下記へお送りください。たくさんのご応募をお待ちしています。

○締切　平成20年6月末日（予定）

○送付・問い合わせ先
〒188―8666
西東京市南町5―6―13
議会事務局庶務調査係
042―460―9860

### 紙面の紹介（今号のもくじ）

○施政方針の概要、代表質問、用語の解説（2～3面）…… 2面

○代表質問、一般質問 …… 3～5面

○予算の審査から、討論…… 6面

○当初予算の概要、委員会の審査から、議会運営委員会の行政視察 …… 7面

○議案等の議決結果、意見書、会議の開催状況、編集後記 …… 8面

「声の市議会だより」をお届けしています。
（録音テープ）

お知り合いの方でご希望の方がいらっしゃいましたら中央図書館（☎042-465-0823）へお問い合わせください。

# 施政方針の概要、代表質問・一般質問（1）

## 代表質問・一般質問の要旨

今定例会では、市長の施政方針に対し、各会派による代表質問と会派に属さない議員の一般質問を行いました。ここでは、最初に市長の施政方針の概要を掲載した上で、主な質問内容についてお知らせします。さらに詳細についてご覧になりたい場合は、会議録をご覧ください。なお、質問内容については、各議員が執筆し、その責任のもとに掲載しています。
※今定例会の会議録は５月下旬に発行予定です。市長の施政方針の内容は市報３月15日号により詳しく掲載しています。ともに両庁舎の情報公開コーナー、各図書館、ホームページにて全文をご覧いただけます。

### 施政方針の概要

《はじめに》
「信頼」というキーワードが大きく取り上げられ、環境を考えさせられた1年であり、地方自治体の取り組みの必要性等を痛感した。
《地方分権改革への期待》
第二期地方分権改革に期待するとともに、真の地方分権に向けて不断の自己改革に努めたい。
《節目を迎える西東京市政》
合併を「究極の行財政改革」と位置づけ、経費削減と総合計画事業を推進してきた。引き続き、計画事業を着実に進め、後期５カ年計画と個別計画を策定する。
《持続可能な社会の構築のために》
市民意識向上や人材育成、市民と行政との協働など、環境問題に積極的に取り組んでいく。
《地域資源・地域主体との連携の推進》
３つの大学キャンパスなど、多様な地域資源・地域主体との連携によりまちづくりを進めていく。
《行財政改革の必要性》
地域経営戦略プランと施策評価制度の構築を中心に行財政改革を推進する。
※主要な取り組み
情報公開・市民参加・説明責任
見やすい、わかりやすい市報による情報提供、電子会議室や市民モニター制度の運用に取り組む。
※魅力あるまちづくりの推進
人にやさしいまちづくり条例推進計画の策定準備を進める。ひばりヶ丘駅周辺のまちづくりの推進に積極的に取り組む。保谷駅南口再開発事業は早期完成に努める。都市計画道路の早期整備、ＩＨＩ跡地での歩行者の安全確保に努める。はなバスの運行ルートのあり方等を検討する。
※子育て支援の推進


4月に開館した「ルピナス」（住吉町6丁目）

住吉会館ルピナスは、事業充実と世代間交流の場となる管理運営に努める。西原保育園及びひよっこの建て替え工事等を行う。谷戸・向台・向台第二学童クラブの運営を委託する。下保谷及びひばりが丘団地内の児童館・学童クラブ・保育園建て替えの実施設計に着手する。（仮称）子どもの権利に関する条例案の策定に取り組む。「こんにちは赤ちゃん事業」により栄養指導や子育て指導を行う。
※健康長寿・福祉の推進
特定健康診査・特定保健指導等、市民の健康づくりに取り組む。地域密着型サービス等の拠点施設の整備を進める。下保谷福祉会館、（仮称）障害者福祉総合センター建て替えの実施設計等に着手する。ひばりが丘団地内に地域福祉施設を整備する。
※みどりの創造とリサイクルの推進
「エコプラザ西東京」を拠点に環境学習等に取り組む。地球温暖化対策地域推進計画の策定に着手し、*エコアクション21の認証・登録に取り組む。北宮ノ脇公園、（仮称）芝久保町三丁目公園の整備を進める。緑のカーテン実施校を拡充し、モデル校による校庭芝生化を試行する。
※防災・防犯等と地域の底力
75歳以上高齢者世帯対象の住宅用火災警報器助成制度を創設する。計画的な溢水対策に努める。防犯充実に向けて、青色回転灯装備車両を購入する。
※教育・スポーツ・芸術文化振興
柳沢小学校大規模改造工事、上向台小学校増築工事を行う。本市にふさわしい中学校給食導入について検討する。
※産業・ＮＰＯなどの振興
イングビルに（仮称）市民協働推進センター、（仮称）多文化共生センターを設置する。魅力ある都市農業育成対策事業補助金、チャレンジショップ事業により農・商業振興に取り組む。
※その他
食育推進計画の策定、市税納付書再発行分のコンビニ納付のシステム開発に取り組む。
《おわりに》
19万3千人となった市民の期待を再認識し、公共サービスの担い手として市政を全うしてまいりたい。

## 生活者ネットワーク
## 市民と共に！環境・福祉優先
## 多文化共生のまちづくりを！

大友かく子
板垣洋子
保谷七緒美

**質問** 普通交付税は27年度で合併算定替えが終了する。税収も制度も計画も現行どおりと仮定すると、20億円程度の影響があると考える。市民サービスの削減に転嫁しないことが大事であるが、いかがか。

**答弁** 市債の借り入れを抑制し、残高の縮減が必要。あわせて後期計画で、市債の借り入れ、事業の選択の整理をしていく。

**質問** まちづくりを進める上で市民団体への支援と協働は重要。センターの整備はどのように進めるのか。

**答弁** 学識経験者・関係団体・公募市民から構成する検討委員会を設置し、議論していただきたい。

多文化共生センター

**質問** センターの役割、機能及び運営方法を問う。また、多文化共生の推進には「多文化共生プラン」の策定が必要ではないか。

**答弁** 外国人の方々のための支援・相談システムをつくりたい。運営は国際交流活動を行っている団体と協議する。文化行政に当たり、基本的な計画を策定する努力をしていきたい。

（仮称）子どもの権利に関する条例について

**質問** 08年度のスケジュールを示せ。

**答弁** 中間答申に基づき、市民参加の策定委員会で検討する。子ども参加の手法も考えながら、条例の素案をつくり上げる予定である。

高齢者虐待の予防と支援

**質問** 高齢者虐待の予防と支援について、市の体制を問う。

**答弁** 現状の市の体制の強化と、関係機関同士の柔軟で有機的な連携をさらに図ることが課題である。

（仮称）障害者福祉総合センターについて

**質問** 設立の目的と地域に開かれたセンター運営の検討について。07年度に庁内で実施された就労訓練の成果と、今後の課題について。

**答弁** 障害者の方が地域で安心して暮らせるための支援を提供できる施設は必要。地域自立支援協議会で施設のあり方を検討する。庁内での実習訓練は成果を踏まえ、同様の形で回数を増やしながら今後のステップを検討する。

地球環境問題に対する取り組みについて

**質問** 今後の環境政策及び建て替え等の施設整備事業に当たっての環境対策の進め方を示せ。

**答弁** *エコアクション21や地域推進計画の策定に着手し、地域全体が取り組む温暖化対策を検討する。

学校での環境の取り組み

**質問** 緑のカーテンの拡充と、課題も多い小学校校庭の芝生化の計画を示せ。

**答弁** 緑のカーテンは10校で実施、芝生化はモデル校１校（約250㎡）を設定する。


緑のカーテン（東伏見小学校）

*ワイワイプラザについて

**質問** *ワイワイプラザの実績や成果を市の施策に生かしていく方法を問う。

**答弁** 子ども総合支援センターのどかや基幹型保育園、児童館などでどのように展開できるか、検討する。
◇総合計画後期５カ年計画の策定に当たって◇説明責任について◇文化・スポーツ行政のあり方について◇食育推進計画の目標は何か◇市民参加条例における「市民参加の手引き」について◇メールマガジンで積極的に市の情報を配信せよ◇歩行者・自転車優先の道路整備・拡幅を◇保谷駅南口再開発と周辺道路整備について◇ＩＨＩ工場跡地の周辺道路について◇「はなバス」について◇住吉会館について◇こんにちは赤ちゃん事業について◇公園広場整備事業について◇東大農場について◇後期高齢者医療制度について◇教育プラン21の見直しについて

### 用語の解説



**○エコアクション21**
平成８年に環境省が中小事業者の環境への取り組みを促進するために策定した環境活動評価プログラムのこと。その後、グリーン購入等、環境に関する取り組みが急速に進展したので、平成16年度から認証登録制度に活用できるガイドラインに改訂された。

**○北宮ノ脇公園**
平成11年に開設した北町５丁目にある公園。借地であったが、平成20年度に市が買収して、整備することになった。

# 代表質問・一般質問（2）

## 民主党・社民クラブ
## 合併による成果や財政状況を正確にわかりやすく伝え、市民が主役の政策実現を！

山崎英昭　望月伸光　森信一　桐山ひとみ　二木孝之　相馬和弘

**質問**　政策法務の強化に取り組むべきだ。

**答弁**　政策実現を推進していく職員には法的能力の向上が重要。

**質問**　市長の考える西東京市にふさわしい文化・スポーツ行政のあり方とは。

**答弁**　それぞれ市民の役割、NPOや企業・団体等の役割、行政の役割、それから協働というような視点がキーワードになっていく。

**質問**　文化とスポーツに関する事務を市長部局が管理執行する考えはあるか。

**答弁**　教育委員会と連携して検討してまいりたい。

**質問**　合併の成果を市民は実感できていない。多くの成果を市民に実感してもらえるように積極的なアピールをすべきだ。

**答弁**　今後もわかりやすい資料の作成に努めるなど工夫を凝らし、積極的な広報に努めてまいりたい。

**質問**　マニフェストの達成状況の現状は。

**答弁**　政策目標に掲げた42項目のうち、平成19年度末において完了または実施した項目及び事業に着手した項目は約7割。平成20年度事業を着実にやることにより約8割に達すると想定。

**質問**　より市民にわかりやすく利用しやすい市役所を実現するためには、2庁舎体制の見直しが急務だ。

**答弁**　合併後の本市における重要課題の1つと認識。平成21年度からの後期基本計画策定に向けて、その準備に取り組んでいる。

**質問**　「西東京市は赤字財政」という宣伝は、明らかに誤りであり、市民をミスリードしている。

**答弁**　この間、形式収支及び実質収支ともすべて黒字であり、決して財政が赤字ということはない。

**質問**　市債現在高の分析評価と今後の市債管理についての見解は。

**答弁**　合併特例債を活用して合併後のまちづくりを積極的に推進してきたが、合併特例債は償還額の7割が基準財政需要額に算入される良質な財源であり、普通債の割合は年々減少している。市債残高509億円のうち7割以上は合併特例債や臨時財政対策債など、償還額が基準財政需要額に算入されるものであり、現在の市債残高は、良質な起債を積極的に活用してきた結果と認識している。

**質問**　情報システムの最適化は多額の予算を削減し、安価でセキュアなシステムに生まれ変わるだけではなく、行政運営を根本から変える絶好の機会であり、市民にとっても、より便利で役に立つサービスを受けられるいいチャンスだ。

**答弁**　プロジェクトチームを立ち上げ、情報システムの最適化を進めている。

**質問**　「はなバス」では、朝夕の混雑時に増便の要望が多い第1ルート、第5ルートで早急な対応を。

**答弁**　平成20年度に（仮称）西東京市地域交通会議を設置し、内容について検討し、その後ルートの見直し等の実施を予定している。

**質問**　民間認可保育園の補助基準を明確化せよ。

**答弁**　保育園の広域入所の観点からも、旧東京都単価ベースとして他市の動向を踏まえつつ対応する。

**意見**　新しい施設の保育園で、水漏れなどがあり、使い勝手が悪いなどの声が寄せられている。今後に向け教訓化すべきだ。


マタニティマーク

**質問**　妊産婦の方へ母子手帳とともにマタニティマークの配布を。

**答弁**　希望者への配布を計画している。

**質問**　ごみ減量について、問題は集合住宅対策と思われるが、市の対応は。

**答弁**　2カ月を経過したところでは、集合住宅の一部にルールが徹底されていない状況も見受けられるが、市民の皆様のご理解とご協力によりおおむね順調に推移している。特に、集合住宅については、今後さらに丁寧な説明と協力の要請をしていきたい。

**質問**　エコプラザ西東京について、資源循環型社会づくり、環境対策の活動・啓発の拠点として、市民参加のもと具体的にどのような事業展開が期待できるのか。

**答弁**　環境保全活動や環境学習を推進する拠点施設として有効活用されることを期待している。具体的な取り組みとして、事業者・市民の協力を得ながら、マイバッグ運動やノーレジ袋運動などを検討していきたい。

**質問**　上向台小学校の築山を整備工事中だが、近隣及び保護者へ工事中の安全確保についてどのような説明をしてきたのか。

**答弁**　保護者と地域の皆様への説明会をそれぞれ開き、工事に伴う通学路の安全確保について、平成19年度に行う築山整備工事と平成20年度に予定している校舎増築工事に分けて説明した。


エコプラザ西東京（泉町3丁目）

**質問**　食育推進計画と学校給食法に基づく中学校給食の実施についての検討結果はあるのか。

**答弁**　当面は後期基本計画に位置づけるための条件整備を目標に考えている。

**質問**　海外の自治体との姉妹都市や友好都市などを進める考えはあるか。

**答弁**　まだまだ議論が必要だと思う。


早稲田大学との連携事業（野球教室）

**質問**　地域大学との連携が大切だ。早稲田大学との包括協定に向けた取り組みは。

**答弁**　スポーツを通じた健康づくりや早大高等学院の実験教室等さまざまな連携を進め、協定締結を視野に入れ協議調整を進めていく。

**質問**　子育てひろばが市内2カ所になる。新しいのどかひろばを子育て情報の発信基地にしたらどうか。

**答弁**　子育て情報の充実提供、地域ポータルサイト等に関し、調査研究する。

**質問**　花と緑にあふれた魅力あるまちづくりのために、緑の東京10年プロジェクトの活用・緑化基金の創設などで財源を効率的に確保し、まちかど緑化・校庭の芝生化・屋上緑化など、市民協働で積極的に緑の創出に取り組むべきである。

**答弁**　全市民が1人1㎡の緑を創造できれば、市内に19・3haの緑が創出される。グローカルな視点で緑を創造する運動を展開したい。

**質問**　西東京市は過度な借金に頼らない財政構造を築き上げる必要性があるが、まず何をすべきか。

**答弁**　歳入歳出一体となった見直しを積極的に行い、後期基本計画は後年度負担を踏まえ、起債対象事業の選定に留意していく。

## 市民協働の時代、前進へ！
## 花と緑の魅力あるまちづくり

無所属　納田さおり

**質問**　数多くの力強い市民活動団体が存在する。市民協働推進センターが設置され、NPO等企画提案事業が拡充。市民協働の進展に大きな期待が高まるが、市職員の受け入れ態勢はどうか。

**答弁**　多様な市民ニーズに対応するためにも、協働の推進は非常に重要だ。市民団体と市の関係部署が連携等を図りやすい環境を整備する。NPOは公共サービスの担い手として期待されており、自立を支援したい。

**質問**　議員・特別職の報酬等の改定について、市長は遠く離れた場所から説明しているという印象を多くの市民が持っている。市民の納得を得るために、説明責任をどう果たしていくのか。

**答弁**　今回の改定は、義務づけられた行政手続を経て議会の議決で決定した。審議の過程に関し情報公開を適切に行っており、車座集会等でも十分説明している。

### ○ワイワイプラザ
公立保育園建て替えのために建てた仮園舎が1年あくことを利用して行った子育て応援事業。市が建物を提供し、NPO法人がコーディネーターとなって、1年間限定で実施した。交流広場事業や市民講座などの活動が行われた。

### ○地域ポータルサイト
地域社会の情報交流を行う場として設けられたホームページ。インターネットを介して、地域の情報を検索したり、地域に共通する問題の解決を呼びかけたりできるなどの利点がある。

### ○グローカルな
「グローバル」と「ローカル」を合わせた和製英語。地球規模の視野で考え、地域の視点で行動するという考え方。

### ○ポケット労働法
労働関係法令の普及啓発資料として東京都産業労働局が作成している小冊子。都内の労働相談情報センターなどで配布されている。東京都のホームページからもダウンロードできる。

### ○オンブズ・パーソン制度
市長等から任命され、市民の苦情等を中立的な立場で調査し、行政活動の違法や行き過ぎについて、その処理や解決を図るための機関を設ける制度のこと。

# 代表質問・一般質問（3）

## 西東京自由民主党・無所属

## 市長・教育長は市民の意見と要望を尊重し「有言実行の精神」で市政運営と政権公約の実現を

大塚光男　田中のりあき　稲垣裕二　鈴木久幸　小林たつや　海老沢進　小峰和美　遠藤源太郎　浅野髙司

**意見** 昨年の漢字は「偽」という言葉が選ばれた。偽装食品、賞味期限の偽りから、政治、年金記録、米艦船の給油量、老舗のお土産品、さらに耐震強度の偽装に至るまで、本年は「偽」のない安心できる年に、またそのような社会になってほしいものである。

市長の政治姿勢について

**質問** 市長は最高責任者として、市民の信頼にこたえる市政運営をどう行うのか。

**答弁** 総合計画に基づき、市民意識調査等や、各種基礎調査を改めて検証し、また現状を分析して、市民の皆様に納得いただけるまちづくりを目指す。

節目を迎える西東京市政

**質問** 都市型対等合併から7年が経過した。合併の成果と取り組みについて問う。

**答弁** 究極の行財政改革と位置づけ、積極的な経費削減に取り組み、6年間の削減効果は約77億円。合併をなし遂げた自治体だからこそ実現できた。今後も計画性を持って取り組んでいく。

**質問** 総合計画の検証と後期基本計画策定について。

**答弁** 総合計画は新たな市民ニーズを踏まえ策定された計画である。総合計画策定審議会を立ち上げ、見直し作業を進めている。市民参加の手法も取り入れる。

行財政改革の必要性

**質問** 行革の視点から、健全財政運営をどのように進めていくのか。考え方と取り組みについて。

**答弁** 経常経費の削減や事業のスクラップ・アンド・ビルドなどにより歳出総額の抑制を図り、経常一般財源の確保に努める。財政状況を多角的・総合的に判断し行政改革を進めていく。

20年度予算編成について

**質問** 財政調整基金と市債について、市民にもわかりやすく現状説明と公開を。

**答弁** 本市の財政調整基金は、財政規模からして適正。市債残高については、18年度末で500億円を超えたものの、合併市特有の良質な財源である合併特例債も含まれており、公債費比率は適正な水準で推移している。財政白書などで説明する。

**質問** 本市の資産状況を正確に、また具体的に公表せよ。

**答弁** 平成21年秋を目途に、バランスシートなど4種類の財務諸表を公表することになっている。各施設の資産状況がわかるような資料の作成を検討していく。

**質問** 道路特定財源の暫定税率を廃止した場合の本市への影響について。

**答弁** 直接的には地方税収分と交付金を合わせて7.6億円程度、また都施行の市内街路事業についても大きな影響が出る。予算執行においても大きな問題が生じる。

魅力あるまちづくりの推進

**質問** 田無駅南口一帯のまちづくりについて。

**答弁** 駅前広場整備については、保谷駅南口再開発事業、ひばりヶ丘駅北口の街路事業の進捗が一定程度図られた段階で検討する。ＩＨＩ周辺道路については、関係権利者の方々の協力を得ながら整備を進める。また、はなバスのルート等の見直しも検討していく。


ＩＨＩ工場跡地（向台町3丁目）

**質問** ひばりヶ丘駅北口のまちづくりについて。

**答弁** 平成20年2月1日の都市計画道路事業認可取得を受け、駅北口のバリアフリー化の早期実現を目指す。

子育て・健康長寿の推進

**質問** 保育園などの民間委託、整備状況について。

**答弁** 既に2園で民間委託を実施、さらに2園を予定している。23年度にひばりが丘団地内にも民間委託を視野に開設予定だ。

**質問** 高齢者福祉の取り組みと介護予防事業について。

**答弁** 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき、計画的に整備を進めている。トレーニングマシンを活用した介護予防事業も実施を予定している。

みどりの創造とリサイクルの推進

**質問** ごみ収集事業と有料袋の値下げについて。

**答弁** 可燃ごみ・不燃ごみともに大幅な減量となっている。有料袋の値下げについては、総合的に勘案しながら検証する必要がある。

**質問** 公園の管理運営と整備について。

**答弁** いこいの森公園の仮処分決定については、和解の道を探っている。試行のドッグランについては、設置に向けて努力していく。

地域資源との連携について

**質問** 早稲田大学との大学施設の有効活用を含む協定締結に向けての取り組みは。

**答弁** 今後も連携を図り、庁内横断的な調整機能を持つ機関の設置を検討していく。

**質問** 早稲田大学との連携の具体像は。

**答弁** （答弁なし）


機能訓練室（住吉老人福祉センター）

防災・防犯等と地域の底力

**質問** 危機管理体制と取り組みについて。

**答弁** 修正中の地域防災計画に基づき、減災目標の具現化、災害時要援護者支援プランの作成などに取り組んでいく。

**質問** 災害時に中学生の協力を。

**答弁** 平日の昼間には貴重な力となる。生徒の安全に十分配慮し、防災訓練などを検討していく。

教育・スポーツの振興

**質問** 食の安全が叫ばれている昨今、学校給食の安全性をどう確保するのか。

**答弁** 保護者の不安や心配などを考慮し、栄養士会などと協議の上、引き続き安全な給食の提供に努める。

産業・ＮＰＯなどの振興

**質問** 産業振興の観点から市内業者を優先して指名し、入札参加及び受注の機会を増やすべきと思うが、今後の対策について。

**答弁** 公正性、競争性の確保を踏まえた上で、地域性という配慮から、市内業者を優先し、また育成にも努めていく。

**質問** 市がコーディネーターとなり、事業に参加する各商店・企業ができる範囲で独自のサービスを消費者に提供する「市内カードシステム（ふれあいカード）」の仕組みを、新たな産業振興策として取り入れるべきであると思うがどうか。

**答弁** 具体的な取り組み内容をご提言いただき、ありがたく承る。

**質問** 市長は、市政運営に当たり、手法を述べるだけでなく、もっと具体的なビジョンを前面に打ち出してほしいが。

**答弁** 究極の行財政改革を目指し、優良な合併特例債を活用して、だれもが生き生きと生活できる西東京市にしたい。

## 西東京市議会公明党

## 合併公約に違反！財政効果を市民に還元する約束では？ 市長選公約の達成度に疑問！

佐々木順一　佐藤公男　中田恵美子　小幡勝己　新井五郎　岩越笙子

**質問** 坂口市長は市長選の法定ビラで「公共料金の値上げや市民サービスの後退を見直す」と公約している。昨年のごみ有料化等で市民負担増した総額と合併の財政効果の総額は幾らか。

**市長** 昨年の改定等で8億円の増収を推計しており、合併の財政効果は6年間で77億円と試算している。

**意見** 合併後10年間は財政効果を市民に還元するとの基本スタンスで推進してきた経緯がある。市長も合併を推進した立場であるが、これでは市民に対する合併時の公約違反ではないか。

**質問** 3年前の市長選マニフェスト（公約）の自己評価は何点か。

**市長** マニフェストの達成状況は7割である。

**意見** 「市長車廃止」をした中身は、市長車等3台のうち1台を売り、別の公用車に乗って達成したと言えるのか！他にもまやかしがあり、達成度に疑問がある。

坂口行革は増税ありきか？

**質問** 坂口行革の経営戦略プランで、19年度までの財政効果目標の10億円を達成できなかった理由を問う。

**市長** 事務事業の縮小や扶助費・補助金等の大幅削減が難しかった。

**意見** 戦略プランを根拠に市民に対して負担増を強行し、10億円が未達成では、市民の理解は得られない。

市北部の快適なまちづくり

**質問** 西武池袋線以北の都市計画道路が整備・推進されている。快適な都市空間を創造するために、行政が地区計画の誘導を図れ。


都道25号線（下保谷2丁目）

**市長** まちづくり・財源確保の観点から、地域の特性を生かした地区計画の導入を考えている。

ひばり駅北口のまちづくり

**質問** ひばりヶ丘駅北口の街路事業が平成25年度完成を目指して着工される。個性的な商店街づくり等の面的な取り組みを図れ。

**市長** 商店街のリニューアルや活性化の支援策を地元商店街と意見交換して取り組むことを検討する。

都道25号線の安全対策を！

**質問** 下保谷の都道が開通するが、信号機設置が6月以降となっている。子どもたち等地域の交通安全対策と信号機の早期設置を図れ。

**市長** 本格的な開放について東京都と調整している。

はなバスルートの拡充を！

**質問** 保谷駅北口とひばりヶ丘駅南口の第1ルート、西原総合教育施設等の第4ルートの延伸で拡充を図れ。

**市長** 今年度、ルート見直しの実現性を検討したい。

火災警報器が助成される！

**質問** 我が党の提案で、住宅火災警報器の助成がされるが、事業の内容を伺う。

**市長** 75歳以上の高齢者世帯に、火災警報器2台の設置を予定している。

東大農場と連携したまちづくり

**質問** 東大農場と連携し、農場と田無駅を結ぶ動線の遊歩道的な整備を推進し、商店街地域の活性化を図れ。

**市長** 関係行政機関の協力を得ながら協議したい。

文化芸術条例の早期制定を

**質問** 昨年、文化芸術振興条例を19年度に制定すると答弁している。文化行政の先送りか。早期に制定せよ。

**市長** 20年度に検討し、方向性を明らかにしたい。

まちづくり条例の実効性を

**質問** 「人にやさしいまちづくり条例」の実効性がある推進計画を策定せよ。

**市長** 20年度に庁内調整会議を設け、推進協議会を設置して策定したい。

障害者自立支援法の見直し

**質問** 我が党の推進で、支援法の抜本的な見直しがされた。この機会を生かし、障害者施策の充実を図れ。

**市長** 利用者負担の軽減等の見直しで障害者の方々から高い評価を受けている。

エ*コアクション21の推進を

**質問** 国の環境政策「エ*コアクション21」における市の対応について問う。

**市長** 21年3月までに認証取得を考えている。

有料ごみ袋料金を見直せ！

**質問** ごみ有料化の説明責任を果たしていない。「80円という値段は適切か」との市民の問いに答えよ。

**市長** 市民には丁重な情報提供に努めていきたい。

**質問** 福祉目的で70歳以上の高齢者世帯に有料ごみ袋の無料配布を実施せよ。

**市長** ご意見として、真摯に受けとめる。

ＩＨＩ開発の不安解消を！

**質問** 地元住民団体は、跡地の各開発事業体の建築物による日影、風害等の複合的な問題発生を懸念している。住民の苦情に対応する総合的な窓口を明確にせよ。

**市長** 総合的な窓口は、ＩＨＩと調整するが、市の窓口は都市整備部で対応する。

協働・文化センターの充実

**質問** ①市民協働推進センターと②多文化共生センターのコンセプトを伺う。

**市長** ①ＮＰＯや市民活動団体の事業支援の拠点②地域に住む外国人活動団体の異文化交流の拠点である。

柳沢駅北口の活性化を！

**質問** 柳沢駅北口周辺のまちづくりのため都市計画道路事業の早期推進を図れ。

**市長** 総合計画（後期）を策定する中で検討したい。

中学校給食の早期実現を！

**質問** 中学校給食を実現するための条件整備を問う。

**教育長** 事業の計画化と学校施設の改修工事等がある。

# 代表質問・一般質問（4）

## 日本共産党西東京市議団

## 今こそ、市民の暮らしを守り 福祉、教育最優先の市政に！

保谷清子　藤岡智明　安斉慎一郎　倉根康雄

国に財源移譲を求めよ

**質問** 国は、地方分権といいながら地方自治体への財源を減らしている。三位一体改革で、市は平成16年からの4年間で国からの財源が87億円も減らされた。国に十分な財源移譲を求めるべきではないか。

**答弁** 市長会等を通じて要請行動を行ってきた。今後も働きかけていく。

福祉優先のまちづくりを

**質問** 市民健診・がん検診の無料制を守り、内容を充実してきたことを評価する。4月から始まる40歳～74歳の特定健診は、引き続き無料制の継続と健診内容のさらなる充実を求める。

**答弁** 健診項目は国基準を上回り追加する。無料制は継続し、18歳～39歳の独自事業もこれまでどおり行う。

**質問** 後期高齢者医療制度は、75歳以上の医療を制限するなど、医療に差別を持ち込むものだ。滞納だけを理由に保険証を取り上げるべきではない。資格証明書を発行しないと明確にせよ。

**答弁** 家庭の事情を調査し、慎重に対応していく。

**意見** 介護労働者の賃金は労働者全体平均の6割にすぎず、離職が相次いでいる。事業所やヘルパーの実態調査を行い、働き続けられる体制を整えることを求める。

子どもの健やかな成長を

**質問** 子どもの医療費無料化を小学校就学まで所得制限なく拡充したことを評価する。さらに、中学3年生までの医療費無料化の実現を求める。

**答弁** 現在の財政状況での実現は難しい。東京都に財政支援を求めていく。

**意見** 妊婦の経済的負担を減らすために、妊婦健診助成をこれまでの2回から5回に増やすことを評価する。さらに回数増を求める。

**質問** 子どもの権利条例は、人間としての尊厳と権利を尊重する「国連子どもの権利条約」に基づくことが重要と考える。条例制定のスケジュールについて伺う。

**答弁** 21・22年度でつくり上げていく。関係者、市民の参加を得て検討、策定することが望ましい。

さらなる教育環境の充実を

**質問** 中学校完全給食の実現に向けて踏み出したことを評価する。今後の進め方を問う。

**答弁** 21年度からの5カ年の後期基本計画にのせるため最大限の努力をする。

**意見** 学習支援員は、小学校1年の35人以上のクラスがある学年に配置され、学習指導や学校生活への適応で効果があり喜ばれている。2年生への拡充や35人未満のクラスへの対応も検討せよ。

**意見** どの子も本好きにするには、小中学校の図書専門員の役割が大きい。現在の2校に1名から、1校1名への配置を求める。

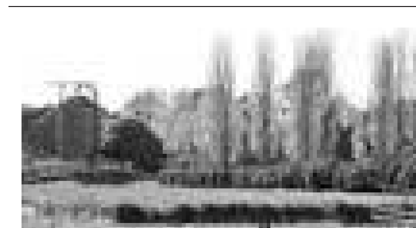
**意見** 教職員の長時間労働は、過労死ラインを超えるとの調査結果もある。実態を調査し、改善に努めよ。

生活困難な若年層への支援

**質問** 格差と貧困が広がり、国民の生存権を保障した憲法25条や生活保護法に基づく十分な保護行政が求められる。生活困難な若年層への生活保護の支援は。

**答弁** 失業や一時的な生活困窮の場合は生活保護の対象として柔軟な対応を図る。

**意見** 労働法制の改悪で日雇い派遣等の非正規の労働者が増え、ネットカフェ難民が社会問題となっている。実態調査、家賃補助、就労支援、ポ*ケット労働法の活用等を行うことを求める。


東大農場

安心して暮らせるまちに

**質問** はなバスのルートについては、公共施設や高齢者の多い団地などを通してほしい等の多様な要求がある。どう検討しているか。

**答弁** 市民、交通事業者、行政とで（仮称）地域交通会議を設け、その中で検討する。

**意見** ＩＨＩ跡地開発については、市民も使える集会所の設置、事業者ごとではなく総合的な説明、道路整備の説明会の開催を求める。

**意見** 東大農場は市・東大・東京都との3者協議を密にしていくことと、速やかな情報提供を求める。

**意見** 2庁舎体制の見直しは市民生活にかかわる重大な問題。情報を提供し、市民の意見を尊重すること。

中小企業・農業の振興を

**意見** にぎわいのある商店街づくり、農業の地産地消を進めるため、実態をつかみ対策をとることを求める。


はなバス（保谷駅北口）

## 報酬審議会に異議あり 報酬値上げは撤回せよ！

無所属　森てるお

**質問** 武蔵村山市長は報酬値上げ答申を議会に提案しなかった。市長は健康保険料の値上げ答申を議会に提案しなかった。値上げ提案は市長の政治判断だ。審議会に責任転嫁すべきではない。審議会で説明を間違えたというがどんなことか。

**部長** 副市長と収入役の分を引き算してしまった。

**質問** 増額分3千200万円から2人の報酬の年間分を差し引いた。経費増は1千万円と説明。一番重要な数字を間違えるような仕事をしているのか。出席職員は何名か。間違いは訂正されたのか。

**部長** 職員は4～5人だ。懲戒が必要だ。

**質問** 単純な計算でわかる重大な誤りに、4～5人の職員、審議会委員のだれも気づかない。市長はどうか。



**副市長** 増要素を説明し、比較して減要素を述べた。

**質問** 「1千万円くらいならいい」と言った委員もいる。結論が変わった可能性がある。市長の認識は。

**市長** 3千200万円が増加すると知っていた。

**質問** 審議会では訂正していない。間違いは訂正しなければうそになる。こんなやり方を認めるのか。市長は

**部長** 発言の時点で賛否の結論は出ていたように感じた。間違った説明で結論が変わったとは考えていない。

**質問** 間違えてもいい数字なのか。西東京市は間違えてもいいという仕事をしているのか。そのために審議会委員の評価も下がった。職員と市長に責任がある。

**市長** 間違いはおわびする。多角的な検討がなされた。

**質問** 発言前に結論が出ていたと議事録に書いてない。重大なミスは処分せよ。

**市長** 判断を間違えた委員がいるとは思っていない。

**質問** 1千万円ならいいという委員の発言がある。実際には3千200万円。その誤りにも気づかない。問題だ。

**市長** 一事が万事の議論にはくみしない。

**質問** 一事が万事ではない。結論に疑義が出たと指摘している。やり直すべきだ。

**市長** 議会でも議決を得ている。処分に言及されており、重く受けとめる。誤りは今後なくしたい。

# 予算の審査から、一般会計予算に対する討論

## 予算の審査から

今定例会では、平成19年度補正予算については3月6日に、平成20年度当初予算については3月13日から28日までの間、予算特別委員会を開催して審査を行いました（保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業特別会計予算については、駅周辺再開発等特別委員会で別途審査）。ここでは、その主な内容と平成20年度一般会計当初予算に対する各会派の討論内容についてお知らせします。

### 平成19年度補正予算

◆一般会計
【説明】執行実績及び見込額を精査して2億774万2千円を減額し、歳入歳出総額をそれぞれ598億5千251万2千円とするもの。
【主な質疑項目】
・生ごみ電動処理機購入補助金の例年の倍以上の執行による予算不足と今年度中の今後の助成について
【結果】賛成全員で可決
◆国民健康保険特別会計
◆下水道事業特別会計
◆受託水道事業特別会計
◆中小企業従業員退職金等共済事業特別会計
◆保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業特別会計
【結果】以上、賛成全員で可決

### 平成20年度当初予算

◆一般会計
【説明】歳入歳出予算の総額をそれぞれ611億3千万円とするもの。債務負担行為は情報システム再構築委託料など33件を予定。地方債は保谷駅前公民館・図書館整備事業など19事業、53億8千320万円の借入限度額を予定。一時借入金の最高額は60億円と定める。
【主な質疑項目】
・人にやさしいまちづくり条例に伴う寄附金は雑入とした方がいいのでは。
・罰則のないポイ捨て・路上喫煙禁止と今までのマナーアップキャンペーンの違いは。
・地域密着型の小規模多機能型介護施設等と市民ニーズ、施設の人材確保について
・分別収集による柳泉園組合負担金、東京たま広域資源循環組合負担金の減額効果は。
・生活保護世帯数の増加と就労支援の取り組みについて
・1千万円を超える元気を出せ商店街補助金について
・子どもの権利条例にオンブズ・パーソン制度を設定する意味について
・ひきこもり・ニート対策でのプライバシーの保護は。
・保谷駅前公民館・図書館利用者の駐輪場について
・市内駐輪場の利用料金統一について
・住宅用火災警報器の助成対象年齢制限（75歳以上）について
・道路整備計画に基づく道路整備等の積極的な将来像を持て。
・ドッグランに市民の協力が得られないのはなぜか。
・中学校給食への市民一般の賛同の必要性について
・学校プールの汚水が雨水管排水になっていた理由は。
・図書館のICタグ資料管理システムの効果について
【結果】賛成多数で可決
◆国民健康保険特別会計
◆下水道事業特別会計
◆後期高齢者医療特別会計
【結果】以上、賛成多数で可決
◆受託水道事業特別会計
◆中小企業従業員退職金等共済事業特別会計
◆老人保健（医療）特別会計
◆駐車場事業特別会計
◆介護保険特別会計
◆保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業特別会計
【結果】以上、賛成全員で可決

## 一般会計予算に対する討論

### 反　対

**点数稼ぎの大型予算 大風呂敷予算に反対**

無所属　森　てるお

市長就任以来、市長が一番大切と考える施策は何かを尋ねてきたが、任期最後の予算になっても不明だ。施策を総花的に並べてどんな西東京市にしたいのか。単に、マニフェストの点数稼ぎのための大風呂敷予算としか見えない。

私は「いのちとくらし」を大切にする行政を期待している。政治の役割は所得の再分配だ。それを根底に、自立できない人を支えることが必要だ。自助を求める以上、自治体関係者は身を切る努力が必要で、議員や市長等の報酬、給料を引き上げている場合ではない。

社会的弱者が生きやすい町をつくり、だれもが安心できる住みやすい町にするべきだ。この観点からは坂口市政も予算も及第点ではない。

国が切り捨てる「いのちとくらし」を守る役割は西東京市が担うべきだ。

### 賛　成

**積極予算に対し、将来の負担を憂慮する**

西東京自由民主党・無所属　田中　のりあき

平成20年度予算は、前年度比約25億9千万円、4.4％増の歳入歳出611億3千万円である。財政健全化法による4指標は良好であるが、基礎的財政収支は均衡を欠いており、また国保会計・下水道会計への繰出金を考慮した経常収支比率は105％となり、財政調整基金を取り崩している。また本年度は、新市建設計画事業に伴う合併特例債の発行は約倍増の26億円、市債総額は前年度比1.5倍の53億8千万円である。7割が需要額に措置される合併特例債も、交付税の実額が保証されてはおらず、起債管理にはより慎重な対応が必要である。保谷駅南口再開発事業についてもスケジュールの遅れなど、さらなる懸案事項も生じている。しかし、ひばりヶ丘駅北口のバリアフリー化につながる都市計画道路整備等の計画を考慮し、本案に賛成をする。

**公明党の提案で多くの市民要望が実現！**

西東京市議会公明党　新井　五郎

予算審議で坂口市長のリーダーシップの欠如が露見した。公明党の総括質疑を通じて①妊産婦健診を2回から5回に拡充し、里帰り出産にも適用を検討する②北原、田無地区会館の建て替えを検討する③家庭ごみの有料袋は平成21年度に見直しを行う等、19項目にわたり前向きな市の見解が示された。しかし、予算の給与費明細書の一部差しかえを行うなど7項目もの訂正があり、市長は予算委員会の冒頭で「このような訂正は二度と起こらないよう行政責任者として責任を痛感」と陳謝したが、小学校での児童に関する背筋が凍るような重大な不祥事、しかも現場から報告がなされない危機管理のなさにあきれるばかりだ。だが、本会議で市長の責任を明確にし、教育長の謝罪を受け、公明党は市民生活の影響をかんがみ賛成する。

**財政健全化で、計画事業の総仕上げを**

民主党・社民クラブ　相馬　和弘

20年度予算は総合計画前期5カ年の最終年度であり、新市建設計画も残すところ3年という節目の年である。

また、坂口市長にとってマニフェストを掲げ当選され、その政策目標の達成に向けた仕上げの予算である。

歳入、歳出とも611億3千万円と合併後、最高額の積極予算となっている。

計画事業では障害者福祉総合センターの設計委託料、各保育園、児童館、学童クラブなどの設計委託料、改修・整備事業、公園整備事業など、また、新規・レベルアップ事業では市民協働推進センター、多文化共生センター、中学校完全給食環境整備調査の実施などが予算化され、市民ニーズに的確にこたえている。

さらに地域経営戦略プランの見直しにより新たな指標を掲げ、健全財政に向けた取り組みが示されていることを評価し、賛成する。

**健康診査無料制など市民要望生かす予算**

日本共産党西東京市議団　藤岡　智明

一般健診・特定健診・後期高齢者健診などを無料にし、健診内容も充実させたこと、前立腺がん検診は5年に1回を2年に1回と拡充したこと、妊産婦健診助成は2回から5回へと充実したこと、学習支援員は定員と時間を増やし柔軟に対応するとしたこと、中学校完全給食の具体化、耐震診断・改修助成、非核・平和都市宣言塔改修など市民要望が生かされ、高く評価する。また、児童館、保育園、福祉会館建て替え、障害者福祉総合センター、福祉作業所建設、ひばりヶ丘駅北口整備なども市民要望だ。

三位一体の改革、税制改革の影響で、依然として財政状況は厳しい中で、こうした施策を盛り込んだ予算に賛成する。

なお、国から地方への財源移譲を求め、行財政改革では、市民サービスを後退させないことを求める。

**報酬等審議会を早期に開催せよ！**

生活者ネットワーク　大友　かく子

このたびの予算は、多くの市民が注目している。特別職の報酬引き上げ分が入っていることを理由に反対し、否決により暫定予算になったとしても、引き上げ分は執行される仕組みになっていて、市民の意見は反映できないことがわかった。

他にも課題はあるものの、（仮称）市民協働推進センターと（仮称）多文化共生センターの設置や焼却炉撤去、震災用井戸改修、緑のカーテン拡充、母子家庭の自立支援拡充等、評価できる項目も多い。課題を整理し、要望を述べ賛成した。

報酬引き上げに関しては、特別職報酬等審議会の委員報酬が毎年計上されている。市長は審議会を早期に開催し、社会状況や市民意向に沿った見直しをするよう諮問し、公募枠等市民の意見がきちんと反映される形で審議会を開催するべきである。

**将来の西東京市像を明確に持った予算を**

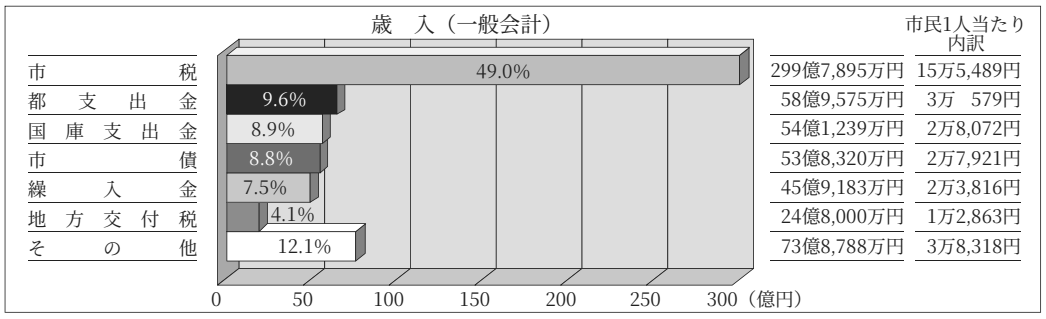
無所属　納田　さおり

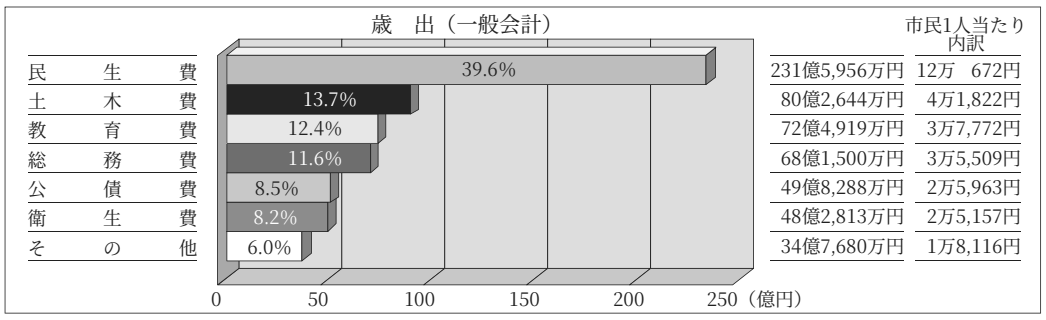
合併特例期間があと3年となり、新市建設計画の遂行事業を徹底的に取捨選択しなければならない時期に来ている。西東京市の将来像に明確なビジョンを持って施策を評価すべきである。

そのような観点から、協働推進事業費が大幅に増額、（仮称）市民協働推進センターが設立され、市民協働の時代に前進していく姿勢が見えたことを評価したい。また、地域密着型サービスの充実等高齢者施策に配慮が見られるが、施策を確実に実施するために人員確保には慎重に努められたい。市内2カ所目の子育てひろばが開設するが、子育てに関する情報発信基地となることを期待する。緑地買い取り事業により、2カ所の公園が整備・新設されるが、今後の緑地保全のため緑化基金の復活を強く要望する。

以上、課題はあるものの総合的に判断して賛成する。

# 当初予算の概要、委員会の審査から、議会運営委員会の行政視察




## 平成20年度　当初予算の概要

| 会計区分 | 平成20年度予算額 | 平成19年度比増減額 | 増減率 |
|---|---|---|---|
| 一般会計 | 611億3,000万円 | 25億9,200万円 | 4.4% |
| 国民健康保険特別会計 | 181億3,789万円 | 4億6,913万円 | 2.7% |
| 下水道事業特別会計 | 45億4,001万円 | 2,552万円 | 0.6% |
| 受託水道事業特別会計 | 8億4,143万円 | △1億5,073万円 | △15.2% |
| 中小企業従業員退職金等共済事業特別会計 | 1億3,465万円 | 149万円 | 1.1% |
| 老人保健(医療)特別会計 | 16億3,143万円 | △112億1,519万円 | △87.3% |
| 駐車場事業特別会計 | 1億7,972万円 | △1,740万円 | △ 8.8% |
| 介護保険特別会計 | 101億 298万円 | 7億8,393万円 | 8.4% |
| 保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業特別会計 | 28億7,695万円 | 8,498万円 | 3.0% |
| 後期高齢者医療特別会計 | 30億2,224万円 | 30億2,224万円 | 皆　増 |
| 合　計 | 1,025億9,730万円 | △ 44億7,404万円 | △ 4.1% |

＊各会計の表示単位未満を四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

# 委員会の審査から

議案や皆さんから提出された請願・陳情は、原則として所管の常任・特別委員会等で審査を行います。ここでは、今定例会で議決された主な議案等の審査の概要をお知らせします。

## 企画総務委員会

「手数料条例の一部を改正する条例」

【説明】戸籍の証明に関する手数料を無料で行う規定について、国ごとに制定されていた社会保障協定に関する諸法律が統合されたことによる規定の整備のほか、健康保険法等の改正による後期高齢者医療制度において手続上必要な戸籍の証明に関する手数料を無料とし、あわせて住民基本台帳法の一部改正による規定の整備を行うもの。

【主な質疑】

問　なぜ、社会保障協定が結ばれているのか。

答　社会保障協定は、年金や医療保険制度の二重加入を防止することが目的だ。例えば日本の事業所に勤務している方が海外の支店や駐在所などに数年間派遣される場合、両方の国の社会保障制度に二重に加入せずとも、相手国の社会保障制度に加入すれば、日本で保障を受ける権利を保持することができる。

【結果】賛成全員で可決

「西東京市特別職の給与及び報酬の見直しを求める陳情」

「特別職の給与及び報酬条例の見直しを求める陳情」

「平成20年度予算から3千200万円減額を求める陳情」

「特別職の給与及び報酬条例の一部凍結を求める陳情」

【主な意見】

意見　12月議会の後、さまざまな市民から、今の時期にどうして給料・報酬の引き上げを行うのかという声が寄せられた。改めて議会の意思決定を変更するのかどうかが問われている。しかしながら、条例上で定められた報酬の受け取りを拒否する行為は、公職選挙法上、問題があると考える。

意見　格差社会の是正、年収200万円以下の生活困窮者の増大の問題は、西東京市の行政運営だけですべてを解決できる問題ではないが、行政も議会も、いつでも真摯にさまざまな立場の市民の声に耳を傾ける姿勢を示すことは大切だ。なお、西東京市は夕張市のような赤字団体であるといった誤った認識が広がっているが、西東京市は赤字団体ではない。

意見　716億円もの借金があり、財政状況が悪いといたずらに市民の不安をあおり、市民に対して、間違った情報を植えつけた議員にも責任があると思う。

【結果】いずれも不採択

## 文教厚生委員会

「市立学校施設使用条例の一部を改正する条例」

【説明】保谷中学校体育館建て替えに伴い、学校施設を社会教育などのために使用する場合、けやき小学校、青嵐中学校と同様に使用料を徴収することができるようにしたもの。有料化の範囲は、体育館と多目的室。

【主な質疑】

問　けやき小と青嵐中は校庭も有料だが、保谷中は今までどおり無料で貸し出しできるのか。

答　保谷中体育館建て替えは調布保谷線用地取得に伴うもので、校庭等も狭くなっている。整備したわけではないので有料の範囲には入れていない。学校教育に支障のない範囲で貸し出せる。


保谷中学校体育館

問　保谷中の多目的室の使用料は、青嵐中の武道場や多目的室1、けやき小の視聴覚室兼講堂に比べて低い。面積の違いか。用途によるものか。

答　広さを基準に計算している。保谷中の多目的室は161㎡だが、青嵐中、けやき小の各施設は300㎡以上だ。

保谷中の多目的室は畳を敷いて武道場として使えるようになっている。畳を外すと床になるため会議室やちょっとした体育目的でも使えると考えている。

【結果】賛成全員で可決

「公民館設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例」

「図書館設置条例の一部を改正する条例」

【説明】住吉公民館の3月末閉館に伴う廃止と、保谷駅南口地区第一種市街地再開発Ⅱ街区ビルの5階に開館する公民館の名称及び位置、並びに同ビル4階に移転する下保谷図書館の新しい名称及び位置を定めるもの。

【主な質疑】

問　従来の図書館・公民館は駐輪場が無料だったが、Ⅱ街区ビルの駐輪設備はすべて無料で使えるのか。それともその中の一定数を確保して駐輪券等を発行するのか。

答　駐輪場はビル全体の共用設備で、区分所有者等による調整会議で最初の2時間までは無料としている。公民館でのサークル活動及び主催講座参加者に限り5時間まで公費負担とする。図書館利用者等その他の利用者には2時間以降は自己負担をしていただく。

問　図書館の移転作業はどういう予定で行うのか。

答　図書館管理システムの導入のため、市内の全図書館は5月19日から31日まで休館する。下保谷図書館はその後も休館したまま引っ越し作業をし、6月29日から保谷駅前図書館として開館する。

【結果】賛成全員で可決

## 建設環境委員会

「I-HI工場跡地開発に関する陳情」

【趣旨】IHI跡地の開発事業主、住民及び市の3者による協議の場を設け、市に強力な指導力を発揮してほしい。環境への影響が甚大な場合は計画を縮小するよう指導してほしい。

【主な質疑】

問　行政として3者による協議の場を設けることはできないのか。

答　協議の場で日照や風害などの観点から建物の高さ、配置の変更を指導することは、行政としてできることではないとお伝えしている。市ができる範囲で事業者に要望することはこれまでもやっている。

問　環境アセスメントを実施するには1千500戸以上という基準があるが、ここの計画戸数は。

答　今業者から来ているところでは1千362戸の予定。

問　全体として町がどうなるのか、近隣住民に説明会を行うつもりはあるか。

答　そのような説明会は今のところ考えていないが、複合的な風害や日影などについては、地域住民の方から要望があったので、1月に三会連合会を対象に説明会を実施した。そういうご要望にはこたえていきたい。

意見　事業者全体と住民と市が一堂に会して、この町をどうしていくのか合意が得られる場をつくってほしいというのがこの陳情だ。周辺の方々にとっても、よかったと言えるまちづくりになってほしいという切実な願いである。採択すべきだ。

【結果】「願意を十分尊重し、可能な範囲で努力されたい。」との意見を付し、趣旨採択

## 議会運営委員会の行政視察

2月4日～5日に議会運営委員会が先進団体等の行政視察を行いました。視察先、視察目的等は次のとおりです。

石川県小松市（2月4日）
石川県金沢市（2月5日）
・議会運営について
（予算・決算の審査方法等）

# 議決結果（議案・陳情）、意見書、会議の開催状況

## 第1回定例会　議案の議決結果一覧

○賛成　×反対

| 件名 ＼ 会派（ ）は所属議員数 | | 西東京自由民主党・無所属（9） | 西東京市議会公明党（6） | 民主党・社民クラブ（6） | 日本共産党西東京市議団（4） | 生活者ネットワーク（3） | 無所属・市民の目（1） | 無所属・市民派無所属（1） | 結果 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 補正予算（19年度） | ・一般会計予算（第3号）<br>・国民健康保険特別会計予算（第2号）<br>・下水道事業特別会計予算（第2号）<br>・受託水道事業特別会計予算（第1号）<br>・中小企業従業員退職金等共済事業特別会計予算（第2号）<br>・保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業特別会計予算（第3号・第4号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 当初予算（20年度） | ・一般会計予算<br>・国民健康保険特別会計予算<br>・下水道事業特別会計予算<br>・後期高齢者医療特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| | ・受託水道事業特別会計予算<br>・中小企業従業員退職金等共済事業特別会計予算<br>・老人保健(医療)特別会計予算<br>・駐車場事業特別会計予算<br>・介護保険特別会計予算<br>・保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 条例制定 | ・後期高齢者医療に関する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| 条例改正 | ・手数料条例<br>・職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例<br>・一般職の職員の給与に関する条例<br>・奨学金基金条例<br>・高齢者センターきらら条例<br>・介護保険条例<br>・ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例<br>・市立児童館条例<br>・心身障害児通所訓練施設ひよっこ条例<br>・コール田無条例<br>・入学資金融資あっせん条例<br>・奨学資金支給条例<br>・市立学校施設使用条例<br>・公民館設置及び管理等に関する条例<br>・図書館設置条例<br>・国民健康保険条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| その他 | ・東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| | ・教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて<br>・西東京市、柳泉園組合及び多摩六都科学館組合公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 同意 |
| 議員提出議案 | ・道路特定財源の一般財源化及び道路関係諸税の暫定税率廃止を求める意見書 | × | × | ○※ | ○ | ○ | ○ | × | 否決 |
| | ・新銀行東京への追加出資を中止し、破綻処理に踏み出すことを求める意見書 | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| | ・高齢者介護・障害者福祉のための人材確保を求める意見書 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| | ・労働者派遣法を派遣労働者の保護のための法律に改正することを求める意見書 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| | ・道路特定財源の確保に関する意見書 | ○ | ○ | ×※ | × | × | × | ○ | 可決 |
| 継続審査<br>・教育委員会の委員の定数を定める条例 | | | | | | | | | |

※は一部退席

## 陳情の結果

（　）は付託委員会

**採択されたもの**

○投票区の見直しに関する陳情〈趣旨採択〉（企画総務）
○妊産婦健診に関する陳情（文教厚生）
○ＩＨＩ跡地開発に関する陳情〈趣旨採択〉（建設環境）

**不採択となったもの**

○西東京市特別職の給与及び報酬条例の見直しを求める陳情（企画総務）
○特別職の給与及び報酬条例の見直しを求める陳情（企画総務）
○平成20年度予算から3千200万円減額を求める陳情（企画総務）
○特別職の給与及び報酬条例の一部凍結を求める陳情（企画総務）
○食の安全確保のため膨大な放射能を放出している青森県「六ヶ所再処理工場」の稼働の中止とその閉鎖を求める意見書の提出に関する陳情（企画総務）
○「鳥獣被害防止特措法」関連予算を、鳥獣捕殺ではなく自然林復元と被害防除に使うこと等を求める意見書提出に関する陳情（企画総務）
○食の安全確保のため、膨大な放射能を放出している青森県「六ヶ所再処理工場」の稼働の中止とその閉鎖を求める意見書の提出に関する陳情（企画総務）
○「非核日本宣言」を求める意見書採択についての陳情（企画総務）

**継続審査となったもの**

○保険業法の制度と運用を見直し、自主的な共済の保険業法の適用除外を求める陳情（企画総務）
○東京都後期高齢者医療広域連合へ意見書提出の陳情（文教厚生）
○保険でよりよい歯科医療の実現を求める意見書採択に関する陳情（文教厚生）
○西東京市新町一丁目都営住宅跡地の緑地保全に関する陳情（建設環境）
○いこいの森公園の噴水の使用再開を求める陳情（建設環境）
○ごみ収集有料化による廃棄物（ごみ）処理手数料の見直しに関する陳情（建設環境）
○ひばりヶ丘駅北口の道路整備における陳情（駅周辺）
○ごみ収集有料化によるごみ処理手数料の値下げについての陳情（建設環境）
○ひばりヶ丘駅北口の道路事業に関する陳情（駅周辺）
○西東京市議会における議決者の情報公開に関する陳情（議会運営）
○政務調査費の情報公開に関する陳情（議会運営）

**審議未了**

○石川島田無工場跡地超高層マンション建設に関する陳情（建設環境）
○まちづくり条例、高層建築物紛争に関する市の関与条例、建築物の絶対高さ制限の条例制定の陳情（建設環境）



## 今定例会で可決した意見書

新銀行東京への追加出資を中止し、破綻処理に踏み出すことを求める意見書
【提出先】東京都知事

高齢者介護・障害者福祉のための人材確保を求める意見書
【提出先】内閣総理大臣、厚生労働大臣

労働者派遣法を派遣労働者の保護のための法律に改正することを求める意見書
【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、国土交通大臣、経済財政政策大臣



## 会議の開催状況

（平成20年1月～3月）

1月
28日　議会報編集委員会

2月
20日　駅周辺再開発等特別委員会
26日　議会運営委員会
29日　第1回定例会・本会議（施政方針、議案等上程～付託）、予算特別委員会、議会報編集委員会

3月
3日　本会議（代表質問）
4日　本会議（代表質問）
5日　本会議（代表質問・一般質問、議案上程～付託）、議会運営委員会
6日　予算特別委員会
7日　駅周辺再開発等特別委員会
10日　本会議（委員会審査報告～議決、陳情上程～付託）、議会運営委員会
11日　企画総務委員会、文教厚生委員会
12日　建設環境委員会
13日　予算特別委員会
14日　予算特別委員会
17日　予算特別委員会
18日　予算特別委員会
19日　予算特別委員会
21日　予算特別委員会
24日　議会運営委員会、予算特別委員会
25日　議会運営委員会、予算特別委員会
26日　予算特別委員会、駅周辺再開発等特別委員会
28日　本会議（委員会審査報告、議案等上程～議決）、議会運営委員会、予算特別委員会

## 編集後記

1カ月という長丁場の第1回定例会が終わり、平成20年度予算が成立しました。合併して8年目、西東京市にとって節目の時期を迎えています。依然として厳しい財政状況ですが、多様な市民要望をいかにしてかなえるか、活発な議論が行われた議会でした。今号ではその様子をお届けしました。皆さんはどのように受けとめられたでしょうか。

これから、この予算の執行について、しっかりとチェックしていくのが議会の役割です。市民の目線に立って、今年度も昨年度と同じメンバーでわかりやすい編集を目指して取り組んでいきます。積極的な議会傍聴もよろしくお願いいたします。

（F）